



「世界遺産登録には国内法による保護が必要。これの一つの関門を越えることができ、とてもうれしいですね。伝道師協会の会員は実際に働いていた人や糸の関係者だけではなく、建築や歴史に興味のある人などいろいろ。会員数は百十六人です。わたしは昨年八月の協会設立時から会長をやっていますが、や

ればやるだけ人々の理解が広まってきたことを実感しています。協会ではこの答申を機に、キヤラバンを展開していく。「県内十一会場で世界遺産ミートイングを開催。本市では六月三十日午後二時に県前橋合同庁舎（上細井町）で行います。また、今月二十日から七月末まで、出前講座として、講座を開きたいという団体へ協会の会員を講師に派遣。皆さんの盛り上げりを高める活動を続けます」。大学卒業後、日本史教師として高校の教壇に立ち、四年前に退職。この間、県文化財保護課に十三年勤務した。「県都前橋糸のまち」といわれるように、本市の基礎を築いた糸の歴史を忘れないでほしいですね。富岡市だけでなく本市でも活動の輪を大きく広げたい」と、力強く語った。

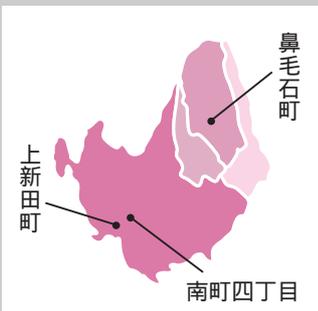
「糸のまち前橋」とも連携を



富岡製糸場世界遺産
伝道師協会会長
近藤 功さん(64)
南町四丁目

ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。



地域ぐるみで こどものごとい

東地区

東地区 のびゆくこどものつどい が五月十五日、上新田町の新田小で開かれました。今年で二十一回目。手作りコーナーや竹馬体験コーナーなどに加え、今年初めてのサッカーゲームコーナーも人気を集めていました。子どもたちは運営にも頑張



り、小学生の借り物競走などは大にぎわい。中学生も今年から手伝いだけでなく、自分たちで運営するコーナーで障害物競走を行いました。最後はみんなで ×クイズ。当日は三千人もの人が、地区を挙げて盛り上がりました。

まちの ニュース

花いっぱい まちを目指して

宮城地区



五月八日、鼻毛石町の花いっぱい育苗施設で、ポチュラカ苗の株分け作業が行われました。宮城花いっぱい・元氣いっぱい推進協議会が、花のあふれる美しいまちを目指して、栽培した花を公共施設などに植えるために三年前から実施しています。この日は、土を入れる人、苗を差す人と分担して株分け。用意した三千株は、一時間ほどでポットに移し終わりました。今後、水やりや草取りなどを会員が交代で行い、体育館や運動公園の花壇へ植栽。夏には美しい花が咲きます。